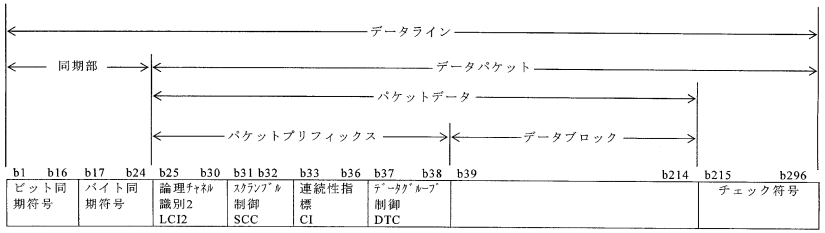
別図第二号　データラインの構成



注１　ビット同期符号は、配列順に“1010101010101010”とする。ただし、ビット同期符号は、データパケットにデータが含まれていない場合においても送出するものとする。

２　バイト同期符号は、配列順に“11100101”とする。ただし、バイト同期符号は、データパケットにデータが含まれていない場合においても送出するものとする。

３　論理チャネル識別２（ＬＣＩ２）はデータ多重放送の信号を伝送する論理チャネルを識別する。ただし、ｂ25～ｂ30をそれぞれＢ１～Ｂ６としたときに、ＬＣＩ２の構成は、配列順に次のとおりとする。

ＬＣＩ２	Ｂ１	Ｂ２	Ｂ３	Ｂ４	Ｂ５	Ｂ６	ＬＣＩ２	Ｂ１	Ｂ２	Ｂ３	Ｂ４	Ｂ５	Ｂ６
1	0	0	0	0	0	0	16	1	0	0	1	0	0
2	0	0	0	0	1	0	17	1	0	0	1	1	0
3	0	0	0	0	1	1	18	1	0	0	1	1	0
4	0	0	0	1	0	0	19	1	0	1	0	1	1
5	0	0	0	1	0	1	20	1	0	1	0	1	0
6	0	0	0	1	1	0	21	1	0	1	1	0	1
7	0	0	1	0	0	0	22	1	0	1	1	0	0
8	0	0	1	0	0	1	23	1	0	1	1	1	1
9	0	0	1	0	1	0	24	1	0	1	1	1	1
10	0	0	1	0	1	1	25	1	1	0	0	1	0
11	0	0	1	1	0	0	26	1	1	0	0	1	1
12	0	0	1	1	0	1	27	1	1	0	1	0	0
13	0	0	1	1	1	0	28	1	1	0	1	0	1
14	0	0	1	1	1	1	29	1	1	0	1	1	0
15	1	0	0	0	1	0	30	1	1	0	1	1	1
時刻信号	0	1	0	0	0	0	伝送制御データ	1	0	0	0	0	0

４　スクランブル制御（ＳＣＣ）は、別表第七号（スクランブル制御の構成）のとおりとする。

５　連続性指標（ＣＩ）は、１つの論理チャネルにおけるパケットデータの連続性を示すための番号であり、ｂ33を最下位ビット、ｂ36を最上位ビットとする４ビットの２進値で「０」～「15」を順次繰り返す。データグループの先頭で前のパケットデータのＣＩの値にかかわらず「０」とすることができる。

６　データグループ制御（ＤＴＣ）は、データグループ先頭フラグ（ＴＤＦ）及び、データグループ終端フラグ（ＥＤＦ）の各１ビットから成り、パケットプリフィックスのｂ37をＴＤＦ、ｂ38をＥＤＦとする。

⑴　ＴＤＦは、データグループの先頭のパケットデータを示すものであり、先頭のデータパケットのときに“１”とし、その他のパケットデータのときに“０”とする。

⑵　ＥＤＦは、データグループの終端のパケットデータを示すものであり、終端のデータパケットのときに“１”とし、その他のパケットデータのときに“０”とする。

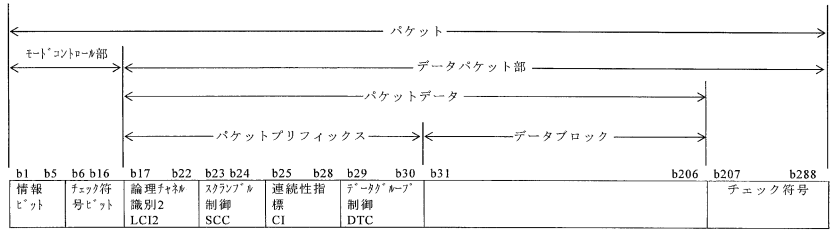
７　運用信号を送出する場合は、ＬＣＩ２は、配列順に“111100”、ＳＣＣは、“01”とする。

８　データブロックの176ビットは、配列順にｂ39～ｂ214とする。８ビットを単位として情報データを表す場合、データブロックの22バイトは、ＤＢ１～ＤＢ22とする。データパケットにおける配列はＤＢ１のｂ１～ｂ８、ＤＢ２のｂ１～ｂ８、…ＤＢ22のｂ１～ｂ８の順とする。

９　冗長ビットは、次のとおりとする。

パケットデータは、(272，190）短縮化差集合巡回符号（b_{25}～b_{214}までの値を順次、多項式$b_{25}X^{271}+b_{26}X^{270}+\cdots+b_{214}X^{82}$の各項の係数値とし、この多項式を生成多項式$X^{82}+X^{77}+X^{76}+X^{71}+X^{67}+X^{66}+X^{56}+X^{52}+X^{48}+X^{40}+X^{36}+X^{34}+X^{24}+X^{22}+X^{18}+X^{10}+X^{4}+1$で除した剰余の多項式$r_{81}X^{81}+r_{80}X^{80}+\cdots+r_{0}X^{0}$の各項の係数値を冗長ビットとし、順次$b_{215}$～$b_{296}$までの値とする。）により、誤り訂正を行うものとする。

別図第三号　パケットの構成



注１　モードコントロール部の16ビットのうち、最初の５ビットを情報ビットとし、次のとおり割り当てる。

区分	ｂ１	ｂ２	ｂ３	ｂ４	ｂ５
バッテリーセーブ用１	0	0	0	0	1
バッテリーセーブ用２	1	0	0	0	1
データ放送（一般）	0	0	0	1	1
データ放送（有料）	1	0	0	1	1
無番組	0	0	0	0	0

２　論理チャネル識別（ＬＣＩ２）はデータ多重放送の信号を伝送する論理チャネルを識別する。ただし、ｂ17～ｂ22をそれぞれＢ１～Ｂ６としたときに、ＬＣＩ２の構成は、配列順に次のとおりとする。

ＬＣＩ２	Ｂ１	Ｂ２	Ｂ３	Ｂ４	Ｂ５	Ｂ６	ＬＣＩ２	Ｂ１	Ｂ２	Ｂ３	Ｂ４	Ｂ５	Ｂ６
1	0	0	0	0	0	0	16	1	0	0	1	0	0
2	0	0	0	0	1	0	17	1	0	0	1	1	0
3	0	0	0	0	1	1	18	1	0	0	1	1	1